



AIを活用したSNS運用における ガバナンスと自動化設計

完全自動化リスクの回避と30日PoCの実行計画

2023.10.24 | CONFIDENTIAL | EXECUTIVE BRIEFING

❌ HIGH RISK (高リスク)

指示内容：SNSの完全無人自動化

⚠️ 広く自動で拡散するアプローチ

⚠️ 規約違反・アカウント凍結の危険性

⚠️ プラットフォームのAPI制限に抵触

✅ SYSTEM OPTIMAL (推奨解)

推奨方針：ワークフローの半自動化

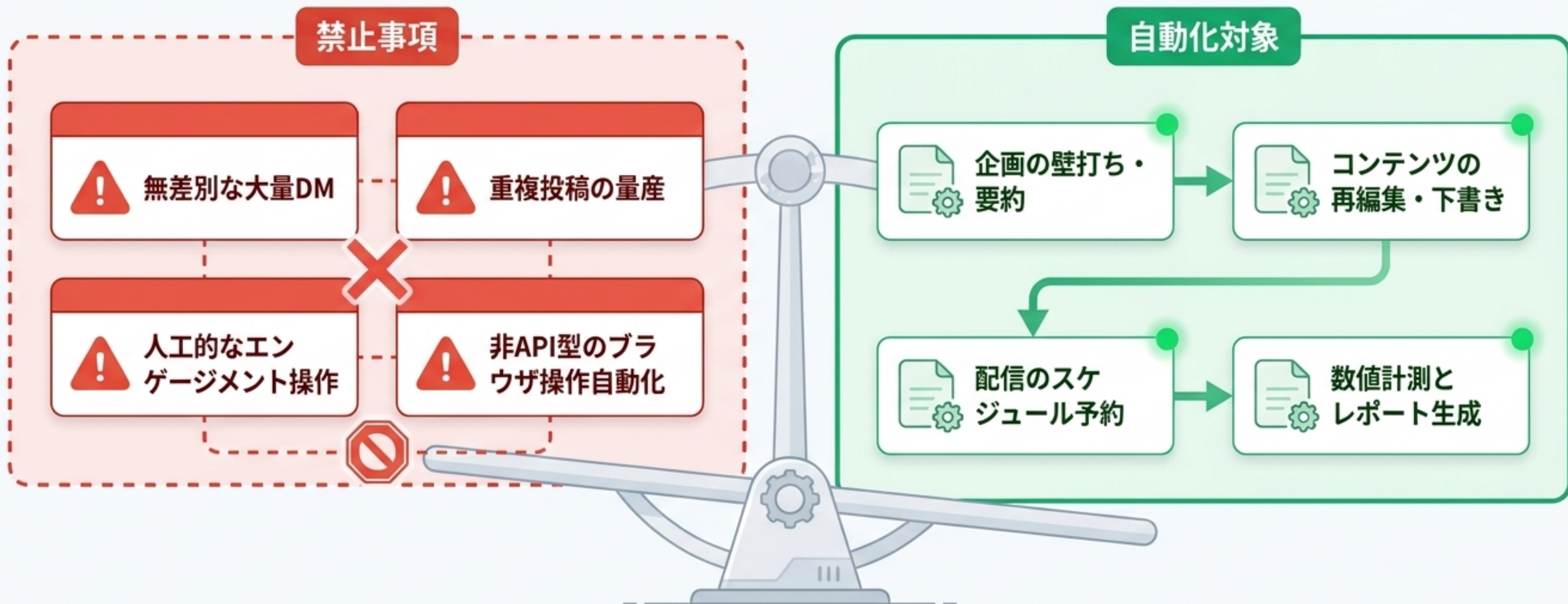
✅ 「拡散」ではなく「制作・配信・分析」をAIで高速化

✅ 人間の承認と公式APIを必須とする設計

“「実行は可能。ただし、“広く自動で撒く”形ではなく、“目的別にAIで制作と配信を高速化する”形で進めたい。まず30日で2チャンネル・1目的に限定したPoCを回し、公開前承認、人間監督、停止条件を入れたうえで拡大可否を判断する。」”

企業がAIで自動化すべき対象の再定義

「自動拡散」から「ワークフロー効率化」へ



成果の源泉は「自動拡散」ではなく「レポート・分析・投稿準備・再利用の効率化」にある。

主要プラットフォーム別の自動化適合性と制約

チャンネル	適合性	制約とAPI仕様	推奨レベル
 LinkedIn	 半自動～人間監督	Posts APIで組織・個人の投稿可能。 組織代理投稿には権限制御必須。	B2B認知 / 採用
Instagram	 半自動	24時間100件制限。 視覚品質とブランド整合が重要。	採用広報 / ブランド
Facebook	 半自動	Pages APIで投稿・更新。 宣伝色過多は反応低下。	イベント / 既存顧客
X	 半自動＋人間監督	重複投稿、無差別DM禁止。 自動アカウントはラベル対象。	速報 / FAQ導線
YouTube	 人間監督	人工的エンゲージメント禁止。 「量産型」は収益化不適格リスク。	商品理解 / 検索流入
TikTok	 人間監督	未監査クライアントは私的公開制限。 24時間5ユーザー上限。	若年層向け認知
Email (Gmail)	 半自動	SPF/DKIM必須。スパム率0.3%未満推奨。	リードナーチャリング
note	 手動～半自動	公開投稿API仕様未確認。公式UI前提。	深掘り記事 / CEO発信

経営陣による初期決定事項：目的とターゲット

PART 1/2: 戦略と成長

決定事項 (What to grow first?)
経営目的

⚠ 未定時のリスク
KPIが混線し、投稿設計が破綻する

Day-1 初期設定
1目的に限定

決定事項 (What is success in 30/90 days?)
成果定義

⚠ 未定時のリスク
フォロワー増だけを追う虚栄指標運用になる

Day-1 初期設定
先行指標と成果指標を分離

決定事項 (Who are we reaching?)
対象顧客

⚠ 未定時のリスク
チャネル選定が誤る

Day-1 初期設定
ペルソナを2つまでに絞る

決定事項 (What is our unique angle?)
競争優位

⚠ 未定時のリスク
AI生成が凡庸化する

Day-1 初期設定
自社一次情報を核にする

決定事項 (Which channels?)
チャネル

⚠ 未定時のリスク
多チャネル同時開始で破綻する

Day-1 初期設定
最初は2チャネルまで

経営陣による初期決定事項：ガバナンスとリスク管理

PART 2/2: 統制と防御

コンテンツ原資
(What existing assets do we have?)

⚠ 未定時のリスク
AIが空疎な文章しか作れない

Day-1 初期設定
既存資産の棚卸しを先行

発信責任と法務
(Who approves and checks rights?)

⚠ 未定時のリスク
投稿停止時の責任曖昧・著作権事故

Day-1 初期設定
広報責任者承認＋法務チェック

禁止事項と接点
(Allow auto-DMs/replies?)

⚠ 未定時のリスク
規約違反・炎上・誤案内の急増

Day-1 初期設定
DM・返信は原則手動・禁止

停止条件
(What triggers an auto-stop?)

⚠ 未定時のリスク
事故時の初動遅れ、被害拡大

Day-1 初期設定
警告・炎上・誤情報で即停止

※ 本決定事項は、PoC開始前の「システム要件定義」としてツール側にハードコードされます。

組織の成熟度に合わせて3つの実行シナリオ

低コスト手動寄り

AI下書き + 手動公開

- 👤 リソース: 0.5~1.0 FTE
- 💰 SaaS予算: 月1万~5万円
- 🔧 ツール: LLM, Canva, Buffer

推奨: 事故回避最優先。
緊急度が高い初期局面。

● STANDARD CHOICE

中間ハイブリッド

自動収集 + AIリライト + 人間承認

- 👤 リソース: 1.0~2.0 FTE
- 💰 SaaS予算: 月5万~20万円
- 🔧 ツール: Make, Zapier, SocialDog, Notion

推奨: 最も現実的。
中小~中堅企業の標準解。
速度と統制の最適バランス。

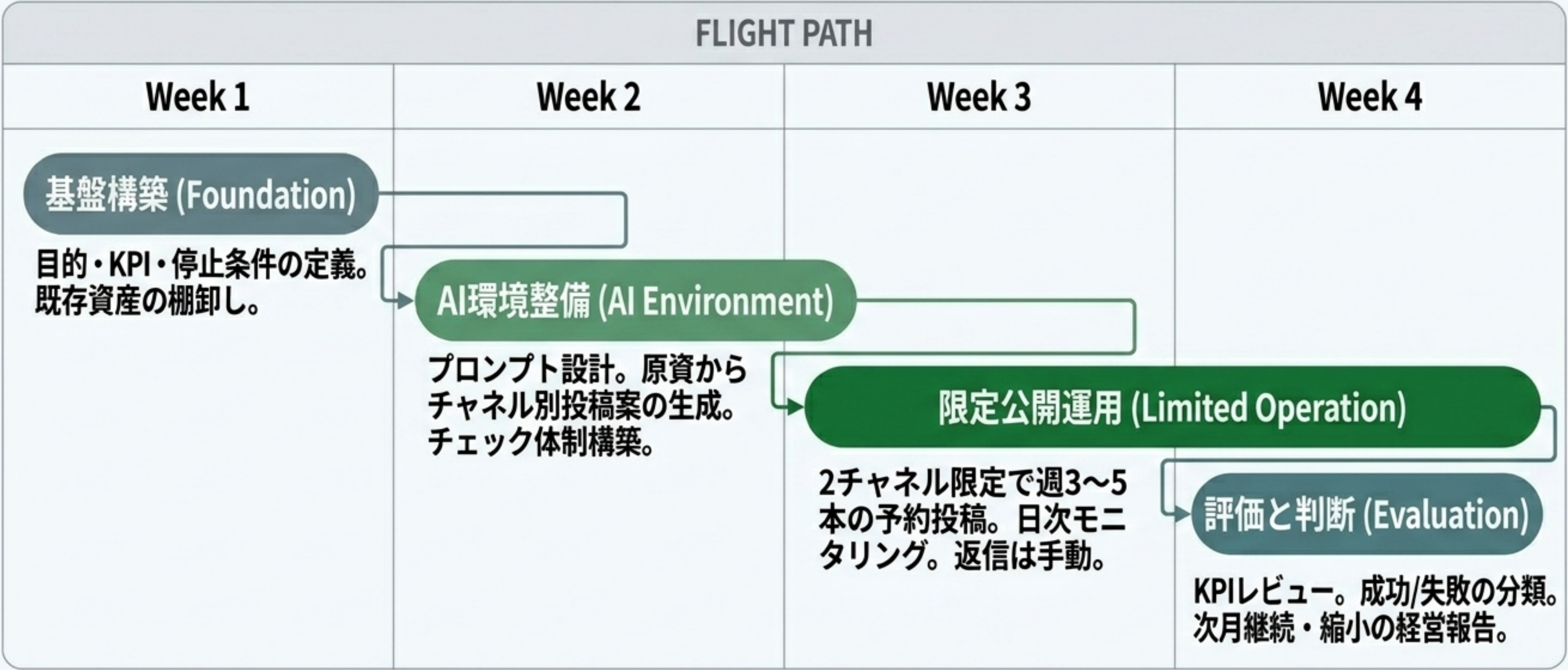
高自動化スケール案

統合CMS + AIマルチ生成 + 自動分析

- 👤 リソース: 2.0~4.0 FTE + 承認者
- 💰 SaaS予算: 月20万円超
- 🔧 ツール: 公式API群, CDP, DWH/BI

推奨: 既存資産が豊富で、
部門間連携が既に確立
している企業。

30日PoC（概念実証）フライトプラン



⚠️ PoC除外範囲：Xの自動DM、TikTokの内部専用投稿、同意のない営業メール（規約リスクが高いため）

安全側に倒した「人間参加型」運用フロー



システムアーキテクチャと自動化スクリプト論理

```
for source in sources:
    brief = summarize_source(source)

    variants = llm_generate({
        "objective": "awareness", # or leads / recruiting / branding
        "channels": ["x", "linkedin"],
        "brand_voice": "calm, practical, no hype",
        "must_include": brief["facts"],
        "must_avoid": ["unsupported claims", "personal data", "copyrighted verbatim reuse"]
    })

    review = llm_review({
        "checklist": [
            "factual consistency",
            "duplicate similarity",
            "brand safety",
            "copyright risk",
            "personal data leak",
            "platform policy conflict"
        ],
        "drafts": variants
    })

    if review["risk_score"] >= 70 or review["flags"]:
        route_to_human_editor(variants, review)
        continue

    approved = human_approve(variants)

    if approved:
        schedule_via_official_tools(approved) # official API or native scheduler only

    metrics = fetch_metrics_from_channels()
    update_dashboard(metrics)
    create_weekly_report(metrics)
```

目的・チャネル・トーンに
基づく下書き生成

事実、著作権、個人情報の
自動検知（一次フィルター）

リスクスコア70以上で
人間による修正へ分岐

承認済みのみ公式APIで
実行

Key Insight: AIを「生成」だけでなく「リスク検知」の一次フィルターとしても活用し、人間の確認工数を大幅に削減する。

品質と安全性を担保するプロンプト制御

下書き生成プロンプト (Generation)

あなたはB2B広報編集者である。
目的は「採用」。
入力原稿をもとに、以下を作成せよ。

出力物:

- X向け 120～140字を3案
- LinkedIn向け 300～500字を2案
- note向け 見出し案を5案

-
- どの案にも誇大表現、断定的な優位主張、未確認情報を入れない
 - 原稿に書かれていない事実を追加しない
 - 候補者にとっての価値を一文で明示する
 - CTAは1つだけ
 - 重複表現を避ける

入力原稿:

{{ source_text }}

リスクレビュープロンプト (Review Check)

以下の投稿案を、公開前レビュー担当として点検せよ。

観点:

- 元原稿にない事実が入っていないか
- 著作権上、他社表現の近似転載になっていないか
- 個人名、顔写真、DM内容、応募者情報など個人情報が含まれていないか
- X/YouTube/TikTok/メールのルールに抵触しやすい「大量・重複・誘導・無差別」表現がないか
- ブランドトーンから逸脱していないか

出力:

- 総合リスク点数 0～100
- 問題箇所
- 修正文
- 「公開可 / 要修正 / 公開不可」の判定

推奨組織体制：ハイブリッド型ガバナンス



AIの真の競争優位は人間を排除することではなく、中央でガバナンスを担保し、現場がAIの速度で安全に発信できる体制を作ることにある。

目的別KPIダッシュボード設計

認知拡大型

リード獲得型

採用型

経営サマリー

View 1: 認知拡大型 (Brand Awareness)

- **Imp, リーチ, 動画再生**

 露出量だけでなく、反応率も併記

View 2: リード獲得型 (Lead Generation)

- **CTR, LP遷移数, CV, CVR**

 CTRが高くCVが低い場合は訴求ズレ

View 3: 採用型 (Recruiting)

- **採用ページクリック, 応募完了数**

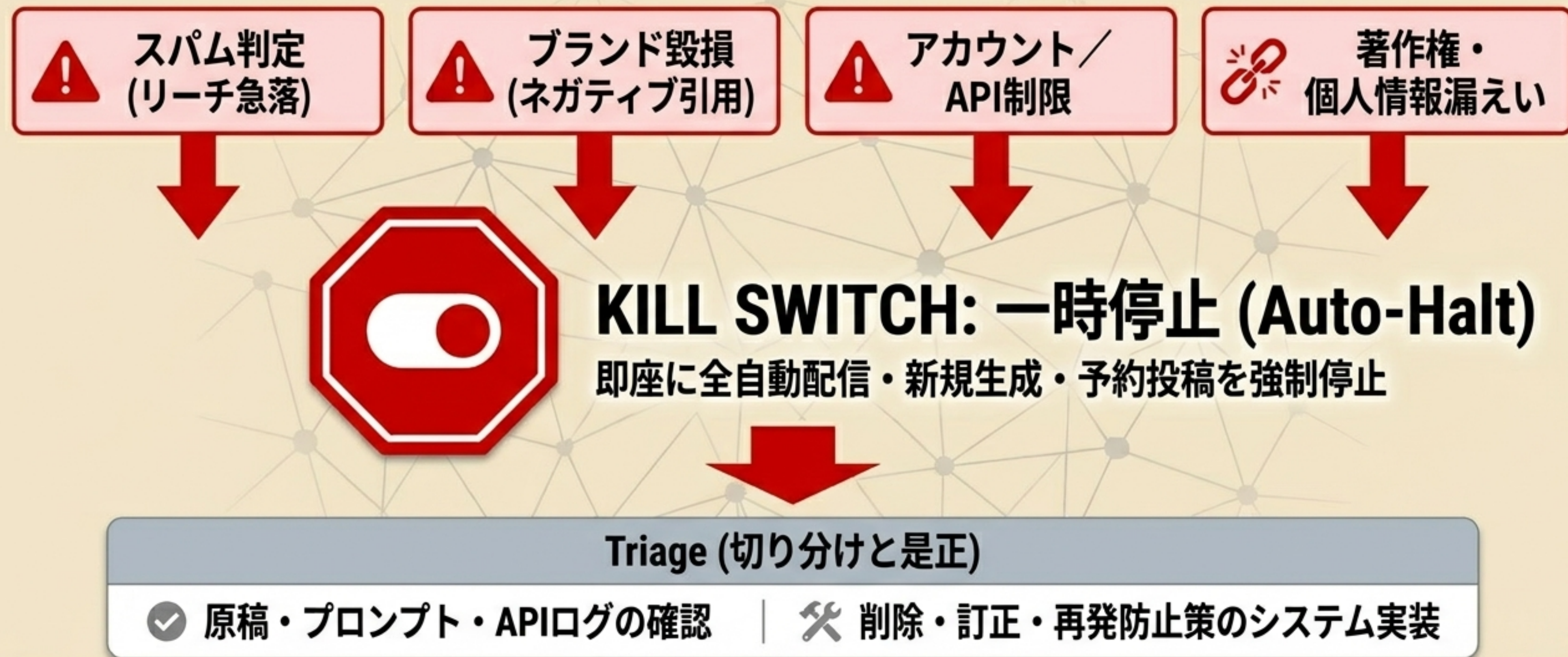
 応募完了まで追跡し母集団の質を見る

View 4: 経営サマリー (Management Summary)

- **目的達成率, 工数削減時間, ROI, 停止件数**

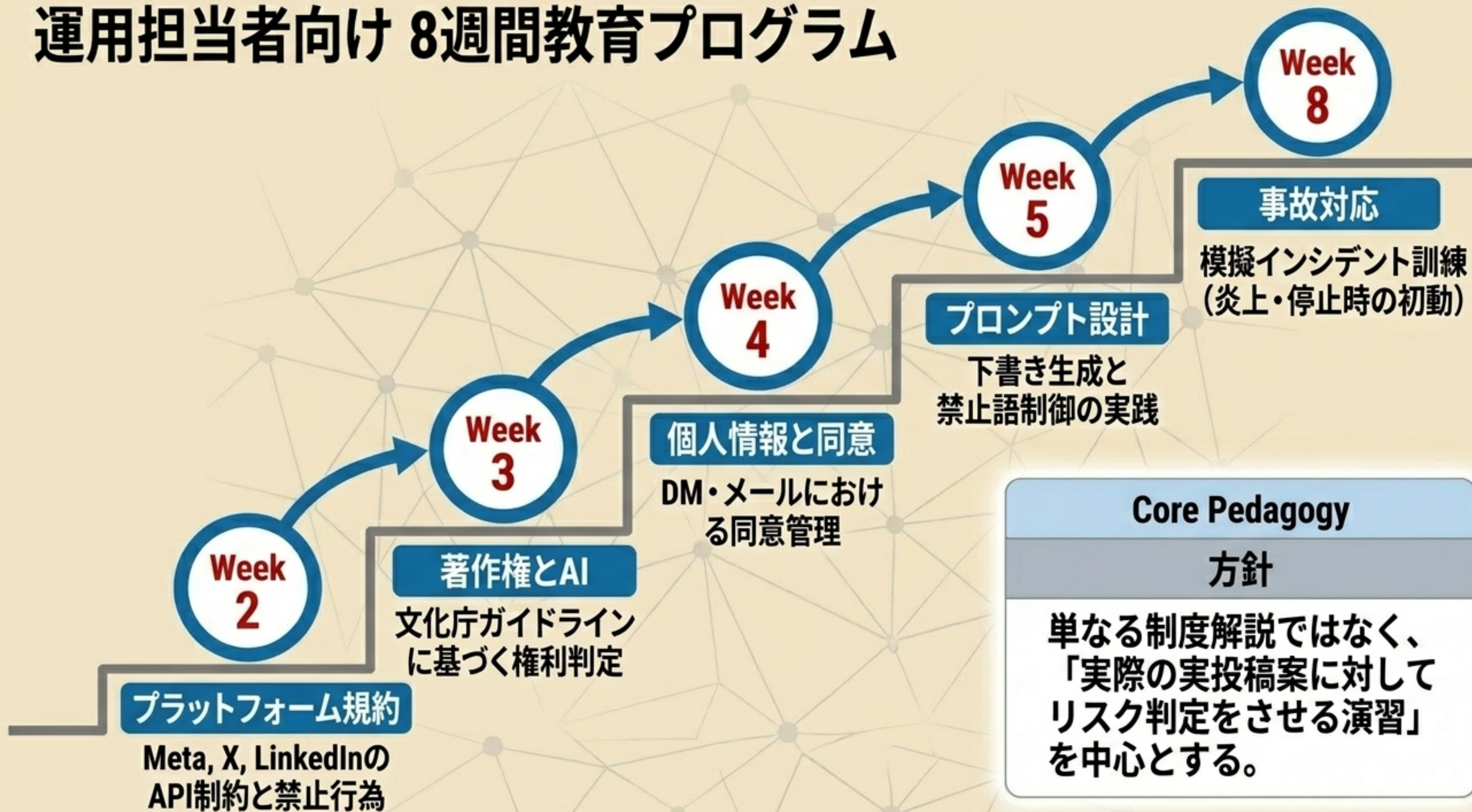
 「成果」と「統制コスト」を同時に見る

リスクインシデント対応と「停止条件」 (Kill Switch)



警告を受けてから改善するのでは遅い。事前に「停止条件」を书面化しシステムにハードコードする。

運用担当者向け 8週間教育プログラム



最終提言とネクストアクション

- ☑ **方針 (Policy):**
完全自動ではなく「半自動+人間監督」を採用。
- ☑ **範囲 (Scope):**
初動は2チャンネル・1目的に限定。AIは下書き・再編集に特化。
- ☑ **ガバナンス (Governance):**
API規約順守、法務チェック、明確な停止条件をPoCに組み込む。

ACTION REQUIRED: 30日PoC計画の承認

AIの真の競争優位は、無限のノイズ生成ではなく、
法的にクリアで最適な発信コストを劇的に下げることにある。